

高等学校における具体目標及び指導計画(例)

	1年	2年	3年
① 心身の発育・発達への理解と健康管理できる力	心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について理解を深めるとともに、それらを科学的・総合的に理解し、自他の性に対する認識を深め、人間としてより適切な行動を選択しようとする態度を育てる。		
	◎生殖と発生 【生物Ⅰ】 ◎現代社会と健康 【保健】 ◎性感染症を考える 【HR】	◎生涯を通じる健康 【保健】 ◎思春期と健康 【HR】	◎望まない妊娠とリスク【HR】
	特別支援学校・特別支援学級 ◎思春期の心と体の変化 ◎健康で安全な生活 ◎清潔と衛生		
② 生命尊重と望ましい人間関係を築く力	男女の心身の特質と人間としての平等性について認識を深め、男女が互いに人格を尊重する心情や態度を育てる。また、将来を見通して、望ましい人間関係を築いていくため、より適切な意志決定に基づく行動選択の能力や態度を育てる。		
	◎ちがいのちがい【HR】	◎相手の気持ちを感じよう【HR】	◎対等な人間関係を作るために (デートDV防止) 【HR】
	特別支援学校・特別支援学級 ◎異性への関心と男女交際のマナー ◎思いやりのある話し方、聞き方 ◎命の大切さ		
③ 家庭や社会の一員としての責任と実践する力	社会における自己の役割と責任について自覚を促すとともに、将来の生き方について自分の考え方を確立する。また、男女平等等、人間尊重の精神を基盤とする性の望ましい価値観を確立し、適切な意志決定や行動選択ができる能力や態度を育てる。		
	◎人の一生と家族・家庭 【家庭科】 ◎エイズについて考える 【HR】	◎子どもの発達と保育・福祉 【家庭科】 ◎ジェンダーについて 【HR】	◎発達と保育 【家庭科】 ◎若者の性とトラブル【HR】
	特別支援学校・特別支援学級 ◎欲求やストレスへの対処 ◎インターネットや携帯電話の使い方 ◎危険なサイト ◎適切な距離(パーソナルスペース) ◎性の被害者・加害者にならないために ◎家族や社会の一員として		

*平成24年2月発行「島根県 性に関する指導の手引」(島根県教育委員会)掲載のものを一部変更

*指導案を掲載したものは太字

《特別支援学校・学級で実施する場合の配慮事項》 ※枠内の内容例は主に知的障がいの生徒を想定したもの

○生徒や学級の実態に応じて指導時期や内容を考慮して指導する。

○障がいの特性から、各教科・領域の学習だけでなく、生活に関連づけて実施するなどの工夫が必要である。